

衆議院外務委員会ニュース

平成 30. 3. 30 第 196 回国会第 6 号

3 月 30 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・河野外務大臣、山本防衛副大臣、堀井外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

末松義規君（立憲）

- ・北朝鮮の金正恩委員長の「電撃的」とされる中国訪問について、河野外務大臣がどのような感想を抱いたかを伺いたい。
- ・北朝鮮をめぐる現状は拉致問題解決の絶好のチャンスであると家族会は見ているが、日朝間で首脳会談等を行うことについて河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省へのサイバー攻撃に関し、攻撃源を断つことを検討しているか。サイバー攻撃対策に有用な極めて優れた人材を採用できる仕組みが必要であると思うが、どうか。

小熊慎司君（希望）

- ・北朝鮮問題に関する国際連携の中で、拉致問題についても取り組む必要性について河野外務大臣の所見を伺いたい。
- ・東日本大震災の復興支援策として、被災地産品に対する国外消費者の懸念を払拭することも重要であると考えますが、外務省としてどのような取組を行っているのか。
- ・登録者数に対する投票率が 2 割程度の在外選挙制度について、投票率を高めるための技術的改善の余地があると考えますが、政府の検討状況はどうか。

岡田克也君（無会）

- ・北朝鮮の中距離弾道ミサイル「ノドン」について、核を搭載して我が国に到達可能と考えるか、河野外務大臣の見解を伺いたい。
- ・米国の「核態勢の見直し（NPR）」について、戦術核に対する抑止には、戦術核ではなく通常兵器で足りるのではないか。
- ・我が国のために戦術核を使用する際には事前の日米間協議が必要か否か。

穀田恵二君（共産）

- ・「日米の『動的防衛協力』について」と題する防衛省資料について、平成 27 年の資料要求と平成 29 年の開示請求の事実関係を確認したい。
- ・独自に入手した防衛省資料は情報公開請求によるものと内容が異なっており、意図的な削除が行われたのではないか。
- ・公文書改ざんの重大性について河野外務大臣及び防衛省はどのように認識しているか。

丸山穂高君（維新）

- ・英国における元ロシア情報機関員襲撃事件（2018年 3 月 4 日に重体で発見）を受け、欧米諸国ではロシア外交官の国外退去要求といった動きが起きているが、我が国はいかなる対応を取るつもりか。
- ・米国による鉄鋼・アルミニウムに対する輸入制限等の措置により我が国企業はどのような影響を受け、それに対し政府はいかなる支援策を講じようとしているのか。
- ・ジャパン・ハウスにおいて「日本の正しい姿（特に領土問題や歴史認識問題）」を発信するため、どのような取組を行っているのか。

山田賢司君（自民）

- ・拉致被害者の早期帰国を実現するため、北朝鮮による拉致を我が国に対する侵略行為と認め国連憲章第 7 章に基づく措置の実施を可能とするような国連決議の採択を目指してはどうか。
- ・戦時における文民保護や捕虜等について定めるジュネーブ四条約について、我が国ではどのようにその周知が図られているのか。
- ・国連憲章における敵国条項について、「死文化している」と言われ久しいが未だ削除に至らない理由は何か。